

「インフラメンテナンス国民会議でブース出展しました」

5月30(木)、31日(金)に大阪市鶴見区の花博記念公園鶴見緑地(ハナミズキホール・花博記念ホール)で開催された「インフラメンテナンス国民会議ー近畿本部フォーラム 2019」にて、ブース出展をしました。

インフラメンテナンス国民会議では、「インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産官学民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与すること」を目的として掲げています。

フォーラムでは、団体や企業によるブース展示のほか、インフラメンテナンスの専門家による講演が行われ、産官学民が有する技術や知見を共有する場となりました。

当社は、「名港西大橋耐震補強工事」、「タフコネク」**VR**による溶接体験」の展示を行いました。2日間で約100名の方が当社のブースに会場し、当社の技術や知見を説明しました。

「名港西大橋耐震補強工事」では、制震・免震技術を駆使して、エネルギー吸収や地震時移動量の抑制を図ることで、主桁・塔の補強を最小限に抑えました。ブースでは、約1/50サイズの主塔部分の模型を展示し、耐震補強工事の内容をまとめたビデオを上映しました。

「タフコネク」は、コンクリートと鋼材の界面を密着させることで、浸水・滞水による腐食を防止する密着防錆材です。ブースでは、パンフレットを配布し、タフコネクの特徴を簡単に説明しました。また、運営の方からインタビューを受け、製品について紹介する場をいただくことができました。

「**VR**による溶接体験」では、コントローラがタッチとなり、コントローラが震動することで溶接をリアルに体験することができます。体験者は「おお、すごい」と楽しんでいる様子で、思っていた以上に反響が良かったです。

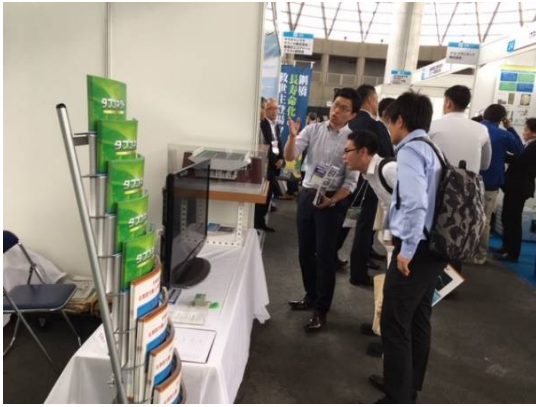
インフラメンテナンス国民会議の関係者様、運営者様のご協力のもとブース展示を行うことができました。ここに感謝の意を申し上げます。また、当社ブースへご来場された皆様、誠にありがとうございました。



開会のテープカット



「タフコネク」のインタビュー



「名港西大橋耐震補強工事」の説明



「VRによる溶接体験」の様子